



ご挨拶

第60次式年造替奉賛会会長
近畿日本鉄道株式会社 会長

山口 昌紀



春日大社は1200有余年の歴史の中で、古来より「式年造替」という20年毎に社殿を造り替える伝統の制度が今に伝えられております。

古くは摂関家や将軍家の庇護を得て行なわれておりましたが、近年は国等関係機関の補助と崇敬の方々の浄財により守られております。

今次ご造替は奈良朝以来60回目にあたり、来る平成28年の竣工を目指し、平成19年よりすでに工事が始まっております。本事業にはおよそ20億円と巨額の費用を要し、崇敬の方々のご支援なくしては到底なし得ない大事業であります。

申すまでもなく春日大社は長い歴史と伝統に培われた貴重な文化遺産であり、日本人の精神の根源ともいい得る存在であります。この伝統を守り後世に伝えることは、現代を生きる私どもの責務であります。

つきましては、今次ご造替の趣旨や実情をご理解いただき、一人でも多くの方にご協力を賜りたくお願い申し上げます。



御蓋山の麓に鎮座する春日大社（写真は中門 御本殿はこの奥）